

福島第一原子力発電所

一時保管エリアNの瓦礫類撤去作業の開始予定

< 参 考 資 料 >
2025年6月19日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所の一時保管エリアNについて、周辺道路の整備や堰の補強等の準備作業が整うことから、2028年度内の完了を目指し、6月23日から瓦礫類撤去作業を開始します。(2,3頁参照)
- 一時保管エリアNは、汚染した土壌を土のう袋に収納したうえで金属製容器(以下、ノッチタンク)内で一時保管しているエリアです。エリア上部は雨水浸入抑制を目的に屋根を設置するとともに、エリア周囲に堰を設置しています。
- 福島第一原子力発電所では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、一部の固体廃棄物(※)を除く、屋外保管の解消」を目的に、事故後に発生した瓦礫類等について、可能な限り減容した上で屋内保管施設へ移動する等、計画的に屋外の一時保管解消に取り組んでいます。
- 屋外での一時保管解消に向けて、引き続き、安全を最優先に作業を進めてまいります。

※ 水処理二次廃棄物および再利用・再使用対象



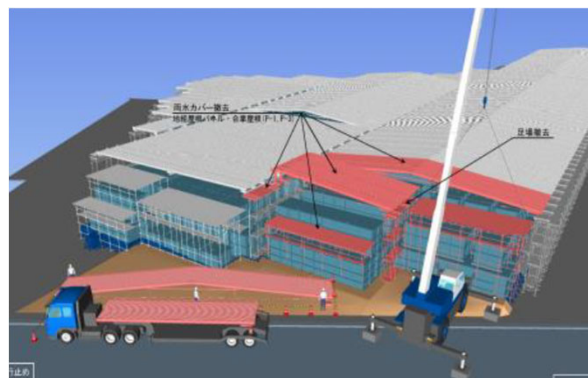
一時保管エリアN(2025年6月4日撮影)

1. 瓦礫類撤去作業の概要

■ 瓦礫類撤去作業の概要

- 瓦礫類撤去作業は以下手順の1から6を繰り返し行います。

手順	内容
(準備作業)	周辺道路の整備 および 堰の補強 等
1	屋根の撤去
2	ノッチタンク蓋の開放
3	土のう袋をノッチタンクから取り出し
4	土のう袋をコンテナへ収納
5	コンテナを固体廃棄物貯蔵庫 第10棟へ運搬
6	空になったノッチタンク本体の撤去 および 撤去の進捗に応じ堰の設置位置の適正化



手順1.屋根の撤去のイメージ



手順2.ノッチタンク蓋の開放
(参考:ノッチタンク蓋開閉時の写真)



手順3.ノッチタンクから取り出し
(参考:土のう袋のノッチタンク保管時の写真)



手順4.コンテナへ収納
(参考:モックアップ時の写真)

2. 瓦礫類撤去作業を踏まえた汚染拡大防止対策

■ 堰の補強

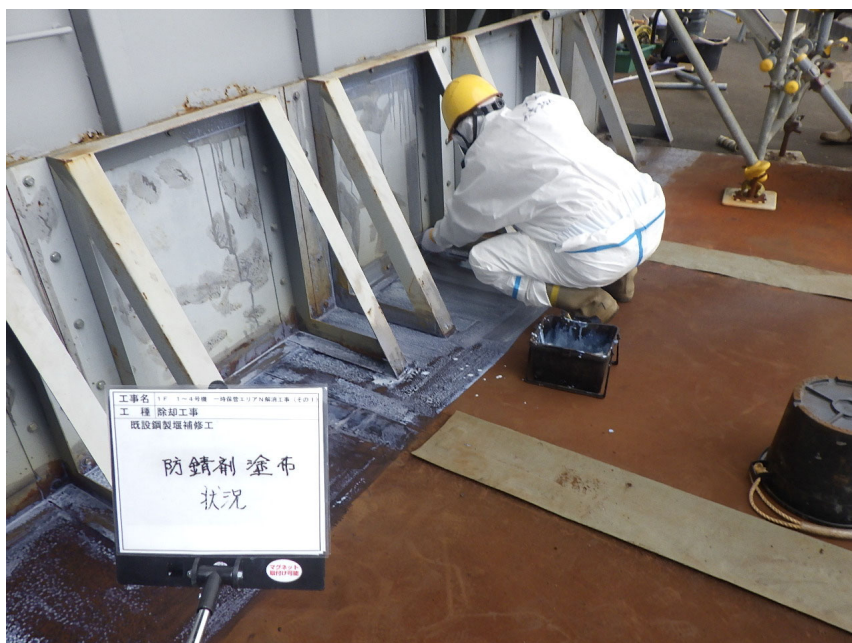
- ・ 従前、エリア周囲には、エリア内からエリア外への雨水流出防止を目的に、堰(鋼製)を設置しています。
- ・ これら堰について、事前の追加的な対策として、防錆・防水処理を行っています。

■ 仮設堰の設置

- ・ ノッチタンクから土のう袋を取り出す際は、当該ノッチタンク周囲に事前に仮設堰を設置します。
- ・ これら仮設堰について、追加的な対策として、止水処理を行います。

■ その他

- ・ 雨水が土のう袋に接触する可能性があるため、土のう袋のノッチタンクからの取り出しやコンテナ収納は、天候(降雨・降雪・強風)を踏まえながら作業を行います。



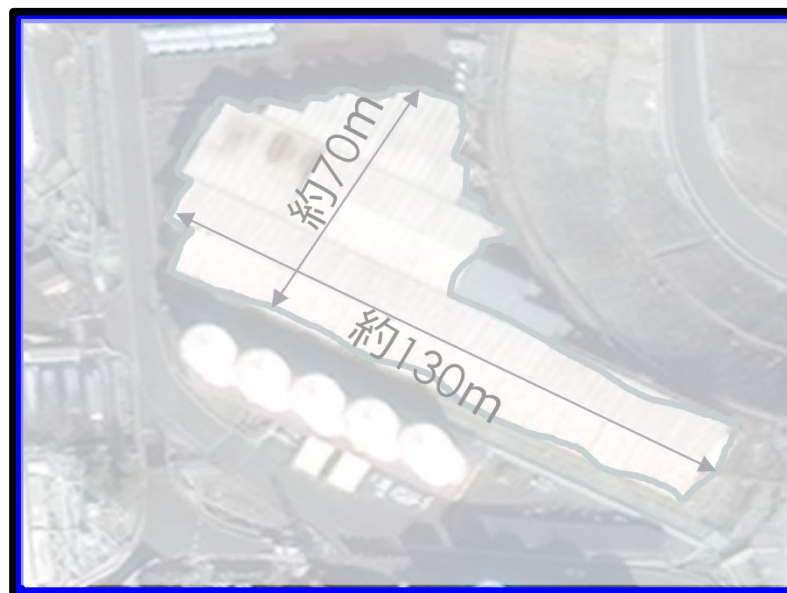
堰の補強(防錆処理)の状況
(2025年5月27日撮影)



堰の補強(防水処理)の状況
(2025年5月27日撮影)

【参考】一時保管エリアNの概要

- 一時保管エリアNでは、主にストロンチウムで汚染した土壌(2013年8月19日にH4タンクエリア、2014年2月19日にH6タンクエリアから漏えいによるもの)を土のうに回収しノッチタンクに収納した上で、2015年4月から一時保管してきました。
- 設置場所：右図参照
- 敷地面積：約5,300m²



エリアN北 俯瞰図

保管容器 (ノッチタンク)	351基
内部土のう線量率 (最小～最大)	$\beta + \gamma$: 0.002～150mSv/h γ : 0.001～2mSv/h

